

【支援対象者の推移】

調査票にご回答いただいた方のうち、記載内容から支援が必要と判断された方を対象に専任の助産師等による電話やメール支援を行っています。

調査年度	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合	電話支援 対象者数	回答者の 支援者の割合		
2011年度	1,401人	15.0%	2011年度1回目フォローアップ調査	375人	14.7%	2011年度2回目フォローアップ調査	421人	17.9%
2012年度	1,104人	15.4%	2012年度1回目フォローアップ調査	256人	12.7%			
2013年度	1,101人	15.2%	2013年度1回目フォローアップ調査	393人	14.5%			
2014年度	830人	11.6%	2014年度1回目フォローアップ調査	380人	14.0%			
2015年度	913人	13.0%						
2016年度	951人	13.0%						
2017年度	799人	12.4%						
2018年度	711人	10.7%						
2019年度	668人	10.6%						

【電話による相談内容】

本調査	2011～2019年度					1回目 フォローアップ調査			2回目 フォローアップ調査
	2011年度	2012年度	2013年度	2014～2017年度 (同じ順位でした)	2018～2019年度 (同じ順位でした)	2015年度 2011年度 調査時	2016年度 2012年度 調査時	2017～2018年度 2013～2014年度 調査時	2019年度 2011年度 調査時
1位	放射線の 心配や影響	母親の こころや身体 の健康	母親の こころや身体 の健康	母親の こころや身体 の健康	母親の こころや身体 の健康	放射線の 心配や影響	放射線の 心配や影響	放射線の 心配や影響	放射線の 心配や影響
2位	母親の こころや身体 の健康	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連
3位	子育て関連	放射線の 心配や影響	子どもの こころや身体 の健康	家庭生活に 関すること	子どもの こころや身体 の健康	子育て関連	子どもの こころや身体 の健康	家庭生活に 関すること	子どもの こころや身体 の健康

「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

第41回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

震災後には放射線の心配や影響についての相談が最も多くありましたが、それらの割合は時間の経過と共に徐々に低下しています。2012年度以降、徐々に母親のこころや身体の健康に関すること、子育て関連等の割合が増え、上位を占めるようになってきました。

本調査の要支援率は次第に減少傾向を示しています。

1回目のフォローアップ調査の要支援率は2013年度以降のフォローアップ調査では、自由記載の内容から支援が必要と考えられる方への支援を例年よりも広げて実施したため、14%前後で推移しています。

2回目のフォローアップ調査の要支援率は最も多い割合となりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2022年3月31日